



平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社 情報企画

上場取引所 東

コード番号 3712 URL <http://www.jyohokikaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 仁史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松岡 勇佑

TEL 06-6265-8530

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	1,806	3.4	598	10.6	599	10.6	405	14.1
28年9月期第3四半期	1,871	5.9	541	10.0	541	15.2	355	21.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	121.12	
28年9月期第3四半期	106.14	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	3,702	2,828	76.4
28年9月期	3,598	2,590	72.0

(参考)自己資本 29年9月期第3四半期 2,828百万円 28年9月期 2,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		25.00		25.00	50.00
29年9月期		25.00			
29年9月期(予想)				25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	8.5	600	23.8	600	23.9	400	24.9	119.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	4,090,000 株	28年9月期	4,090,000 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	740,074 株	28年9月期	740,074 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	3,349,926 株	28年9月期3Q	3,349,926 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
追加情報	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成28年10月1日から平成29年6月30日の9ヶ月間)におけるわが国経済については、国際情勢を反映し株価や為替などの金融市場は不安定な状況ですが、生産や個人消費は回復基調が続いており景気は安定した状況にあると見られます。しかしながら当社の主要な販売先である金融機関におきましては、全国の銀行全体では平成29年3月期決算は、低金利政策から経常利益は減益となり本業は厳しく、設備投資に対して慎重な姿勢が見られます。

このような環境下において、「システム事業」につきましては、システム開発に係る「システムインテグレーション部門」の当第3四半期累計期間の売上高は、融資稟議支援システムや新システムなどの導入効果により、前期の大型案件の売上高の反動をほぼ補うかたちとなり、前年同期並みとなりました。システムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」の売上高は安定的に計上されております。営業利益は、「システムインテグレーション部門」での大型案件開発に係る材料費の計上がなくなったことやその開発に係る外注費も削減され、その費用削減効果が大きく前年同期比増益となりました。

「不動産賃貸事業」につきましては、賃貸収入の売上高は前年同期比増収となり、営業利益も前年同期比増益となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,806,979千円(前年同期比3.4%減)、営業利益は598,505千円(同10.6%増)、経常利益は599,023千円(同10.6%増)、四半期純利益は405,750千円(同14.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①システム事業

「システムインテグレーション部門」

主要なシステムである「融資稟議支援システム」は複数の信用金庫や信組情報サービス株式会社(SKC)宛に売上高を計上し大きく伸ばしました。地域金融機関が金融庁から提出を求められているベンチマークを集計する「ベンチマーク集計システム」や地方経済との対話を重視するための「事業性評価支援システム」など新システムも導入し売上高に貢献しております。主要なシステムである「担保不動産評価管理システム」は地銀宛に大型案件の売上高を計上し「決算書リーディングシステム」も新たに地銀ユーザーを獲得しました。

以上の結果、システムインテグレーション部門の売上高は、961,050千円(前年同期比5.9%減)、セグメント内の売上高構成比は55.8%となりました。

「システムサポート部門」

メンテナンスの売上高はこれまでのシステム導入の効果が大きく前年同期並みとなり、システムサポート部門の売上高は762,454千円(前年同期比0.5%減)、売上高構成比は44.2%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は1,723,504千円(前年同期比3.6%減)、セグメント利益は569,792千円(同10.1%増)となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、賃貸マンション1棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗1件の計4物件であり、当第3四半期累計期間の売上高は、賃貸収入83,474千円(前年同期比0.4%増)、セグメント利益は28,713千円(同21.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ151,137千円増加し、2,157,358千円となりました。これは主に売掛金の回収による現金及び預金の増加によるものです。固定資産は前事業年度末に比べ、46,959千円減少し、1,545,339千円となりました。これは主に減価償却費の計上によるものです。この結果、資産合計は前事業年度末に比べ104,177千円増加し、3,702,697千円となりました。

(負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ134,077千円減少し、874,264千円となりました。これは主に未払法人税等の減少によるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ238,254千円増加し、2,828,433千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、国際情勢次第では不安定な株式相場や円高など、景気の悪化が懸念されますが、消費や生産などは当面堅調に推移すると考えられます。しかし、当社の主要な販売先である金融機関の取り巻く環境は依然厳しいと見られます。

このような状況の中、当社といたしましては、主要顧客である金融機関の様々なニーズを捉えて、受注に結び付けるきめ細かい営業を行っていく考えです。

平成29年9月期におきましては、売上高2,300,000千円(前年同期比8.5%減)、営業利益600,000千円(同23.8%減)、経常利益600,000千円(同23.9%減)、当期純利益400,000千円(同24.9%減)と予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,393,799	1,773,407
売掛金	509,775	328,345
仕掛品	55,971	29,928
繰延税金資産	31,767	8,756
未収収益	3,780	4,879
その他	11,126	12,041
流動資産合計	2,006,220	2,157,358
固定資産		
有形固定資産		
建物	787,505	786,906
減価償却累計額	△139,162	△162,879
建物(純額)	648,342	624,026
構築物	4,205	4,205
減価償却累計額	△2,008	△2,308
構築物(純額)	2,197	1,897
機械及び装置	75,054	75,054
減価償却累計額	△54,637	△59,751
機械及び装置(純額)	20,417	15,303
工具、器具及び備品	62,484	61,343
減価償却累計額	△55,339	△54,544
工具、器具及び備品(純額)	7,144	6,798
土地	807,318	807,318
有形固定資産合計	1,485,421	1,455,344
無形固定資産		
ソフトウェア	14,494	15,420
その他	1,116	1,116
無形固定資産合計	15,610	16,536
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	10,000
繰延税金資産	23,667	6,408
会員権	12,850	12,650
差入保証金	44,399	44,399
その他	350	—
投資その他の資産合計	91,267	73,458
固定資産合計	1,592,299	1,545,339
資産合計	3,598,520	3,702,697

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	45,364	30,274
未払金	78,383	170,120
未払消費税等	51,923	21,881
未払法人税等	147,537	33,574
前受収益	308,673	314,687
賞与引当金	69,038	23,773
製品保証引当金	1,075	467
その他	9,680	26,714
流動負債合計	711,677	621,494
固定負債		
役員退職慰労引当金	246,979	204,800
長期預り保証金	49,683	47,969
固定負債合計	296,663	252,769
負債合計	1,008,341	874,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金		
資本準備金	365,175	365,175
資本剰余金合計	365,175	365,175
利益剰余金		
利益準備金	1,816	1,816
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,660,513	2,898,767
利益剰余金合計	2,662,329	2,900,583
自己株式	△763,950	△763,950
株主資本合計	2,590,179	2,828,433
純資産合計	2,590,179	2,828,433
負債純資産合計	3,598,520	3,702,697

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,871,080	1,806,979
売上原価	907,692	764,474
売上総利益	963,387	1,042,504
販売費及び一般管理費	422,126	443,998
営業利益	541,261	598,505
営業外収益		
受取利息	266	170
未払配当金除斥益	161	312
その他	34	33
営業外収益合計	462	517
経常利益	541,723	599,023
特別利益		
ゴルフ会員権償還益	—	264
特別利益合計	—	264
特別損失		
固定資産除売却損	160	90
特別損失合計	160	90
税引前四半期純利益	541,562	599,196
法人税、住民税及び事業税	159,029	153,175
法人税等調整額	26,959	40,270
法人税等合計	185,989	193,445
四半期純利益	355,573	405,750

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,787,974	83,106	1,871,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,787,974	83,106	1,871,080
セグメント利益	517,587	23,673	541,261

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

II 当第3四半期累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,723,504	83,474	1,806,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,723,504	83,474	1,806,979
セグメント利益	569,792	28,713	598,505

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。